

土田町（12区）は5月5日実施の避難防災訓練に続いて、11月19日にひまわり館ホールで、自治会と赤十字奉仕団12区の共催で、防災講習会を開催しました。最近の豪雨による河川の氾濫や、必ず発生すると言われている大地震に対して、いかに災害から身を守るかについて考えよう！の主旨の下で開催されました。

滋賀県防災支援赤十字奉仕団委員長の中村準一氏を講師に迎えて、「大規模災害の教訓から学ぶ」をテーマに、また「他人

「世界人権デー」の12月10日（土）の午後、八幡コメン多目的室を会場に、まち協人権部会による「花はどこへ行った？」と題した、平和学習会が開催されました。

講師には戦火のウクライナを離れ、今は留学生として京都の龍谷大学に学ぶシトワ・アナスタシアさんとクヴィアト・オレサンドラさんをお招きし、平和な頃の家族そ



↑ハーモニックスさんによる「花はどこへ行った」の演奏に聴き入る会場の皆さん。この歌は世界一有名な反戦歌といわれている。



ウクライナからの留学生のお二人

参加者からの「日本の食事で何が好きですか？」との質問に、「焼肉です」「私はお寿司」と笑顔で答えていたお二人の心の奥の悲しみを忘れてはならないと思った学習会でした。

12区防災講習会

自治会と赤十字奉仕団との共催



事から自分事へ「災害への備えは日常の中にある」をサブテーマに、大災害支援に従事した経験や防災減災対策を含めて、自分の命は自分で守ることについて学びました。災害に避難はつきもの、結果的に避難しても被害がないと「空振り」、つまり避難しなくてもよかったのではないかと考える「素振り」と考えるべきであるとのこと、いつ逃げるのという逃げ時、どこへ逃げるのという逃げ場所、また、災害時に特別な配慮が必要と

参加者の手元には資料を一切配付せず、スクリーンから目を離さずに見て聞いている講習会形式でしたが、非常に分かり易いとの感想が寄せられました。今後も地域の防災力を高めるように、自治会として取り組んで行きたいと思っています。

八幡まち協人権部会 平和学習会 「花はどこへ行った？」 ウクライナからの留学生を迎え開催

する人々たちへの支援について、防災と福祉との連携などについても触れられました。

参加者の手元には資料を一切配付せず、スクリーンから目を離さずに見て聞いている講習会形式でしたが、非常に分かり易いとの感想が寄せられました。今後も地域の防災力を高めるように、自治会として取り組んで行きたいと思っています。

おめでとうございます

近江八幡市青少年育成市民会議
＜青少年指導者顕彰＞
西野 新三郎 さん
八幡学区まちづくり協議会
子ども育成部会 寺子屋長

近江八幡市社会福祉協議会
＜会長表彰＞
大植 常夫 さん
八幡学区社会福祉協議会普及員

八幡学区交通安全推進協議会が毎年実施している交通安全標語コンクールに今年もたくさんの人たちから応募していただくことができました。この標語コンクールは、子どもの部・一般の部・高齢者の部の3部門に分かれて募集しているものです。そして、それぞれの部門で審査を行い、金賞・銀賞・銅賞として表彰しています。

応募された作品はすべて、毎年11月に文化のつどいと同時に開催されている安全安心フェスタで

みなさんに紹介されています。それに加え、3年前からは、各部門で金賞を受賞した作品をポスター化し、自治会・市施設・学校等、多くの人たちの目につくところに掲示し、交通安全の啓発活動に役立たせていただいています。どこかでこの交通安全ポスターを見られた時に、交通安全について改めて留意していただければ、応募された方々も応募した甲斐があったと喜ばれるのではないのでしょうか。

今年の講演はびわこ学院大学教育福祉部子ども学科教授である、内藤紀代子先生を迎えて「ネットにふりまわされないために」という表題で行われました。内藤先生のゼミ生も交えて、参加者も巻き込む形で講演が進ん

八幡学区青少年健全育成大会
優秀作文発表
八幡小学校6年 川田 昂輝
「ぼくの自まんの家族」
近江兄弟社中学校3年 杉本 陽菜
「Everything is based on "Do."」
八幡中学校3年 脇 充希
「装具と税」
絵画表彰
滋賀県青少年育成県民会議優秀賞
八幡中学校1年 伊藤 和奏
「宇宙にひとつの家族」
滋賀県青少年育成県民会議奨励賞
八幡中学校1年 乾 陽奈
「家族を大切に」
(敬称略)

歩行中
歩きスマホは 事故のもと
要注意
夜道の無灯火 黒ずくめ
行けるかな
やっぱり止まろう
黄信号

令和4年度交通安全標語応募優秀作品
＜一般の部・高齢者の部・子どもの部＞
企画：八幡学区交通安全推進協議会

金賞受賞標語がポスターに交通安全の啓発を推進

八幡学区青少年健全育成大会 ～今年もコロナ対策をしながら開催～



↑オープニングを飾った八中太鼓の演奏。「大迫力の太鼓の音に感動した」という声も。

でいきました。中学生がよく使うアプリやSNSの危険性など、年頃のお子さんを持つ保護者にとっては、たいへん学ぶところの多い内容でした。特に、マッチングアプリなどについて保護者が子どもに「絶対使わない」などと伝えてしまうと、何か事件に巻き込まれたときに子どもは保護者に相談しづらくなってしまう、という話には「なるほど」と共感させられるものがありません。また、昨今の家庭では同じ屋根の下で過ごしながらも、スマートフォンなどを活用するせいで家族間の会話が減ってきているという話もありました。家庭でよいコミュニケーションを築きあげることがいつの世も大事なのだと気づかされた講演でした。